

<赤ちゃんや小さい子どものいる家庭での読み聞かせ支援のツール>

対象者：0歳児の親子

(50分程度)

作成班 C

おひざにだっこでおはなししましょう ~絵本をひらいてみませんか?~

【ねらい】読み聞かせの体験等を通して、子どもに対する読み聞かせの大切さを感じ、自分の子育てに取り入れるきっかけとする。

【準備物】主催者：名札、ワークシート、アンケート用紙、筆記用具、絵本（講座場所に絵本がない場合は、図書館で借りるなどして準備する。絵本がある人は持ってきてもらっても良い。）

時間	アクティビティの展開例	留意点	備考
(20分)	(1)名札付け。 (2)ファミリーター自己紹介、親プロの主旨 ルール説明 (3)アイスブレイク。	全員に名札をつける。(ひらがな、親と子の名前) ※赤ちゃんの月齢も 名札はあらかじめ、テープに直接書いて、服にはる。 三つの約束、写真の了解もとる。 ①一里二里三里(赤ちゃんをねかせてやる) ②こはらのに似たとこ(顔とせりながら) ③上から下から大風こーい、こーい。	受付が代筆。 親こずんでやる ※パスポートを用意。
(5分)	(4)タイトル、ねらいを読む。 赤ちゃんと絵本の出会いを紹介。		
(10分)	(5)やってみよう。 自分の子どもが好きな本などの エピソードを話し、読み聞かせを行う。 「ももこもこ」	どう思ったか聞く。 ゆくりぬくる。 皆で、この絵本は(他の絵本と違う)所があると思いませんか?	
(5分)	(6)赤ちゃんが大好きな本の紹介 「0.1.2元ほん」 参考資料を紹介。	図書館にあることを伝える 家にある本でも、図書館で同じ本をかり(エピソード) ※同じもので安心感がある。 お風呂で読むことか、お本もある。	自分も同いような服 ばかり買う。
(5分)	(7)学習を振り返りましよう。		
(5分)	(8)終了。アンケート。片付け。		

<メモ>